

2024年3月17日 主日礼拝賛美歌

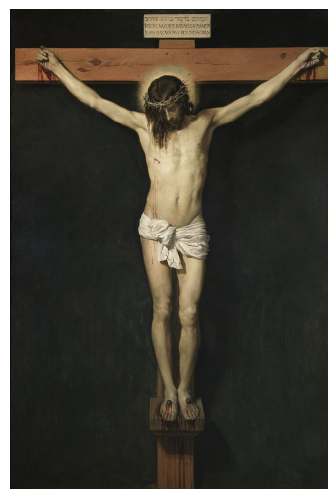
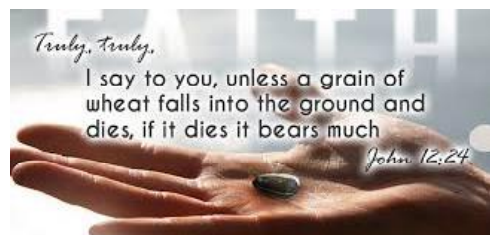
● 『讚美歌』 74番

1. はてしもしられぬ あまつうなばらを
わたるやあさひの うららににおいて
みめぐみあまねき ちちなるみかみを
あらわすひかりぞ ひびにあらたなる
2. くれゆくみそらに つきほしほのめき
みちかくるかげに かわるきらめきに
ときわにかわらぬ みかみのまことを
あらわすひかりぞ よよにさやかなる
3. ひるはものいわず よるはかたらねど
こえなきうたごえ ところにぞひびく
われらのいのちに ましますみかみの
おきてはかしこく みいつこよなしと
アーメン



● 『讚美歌第二編』 182番

1. おかのうえに 十字架たつ 神の御子イエスキミ
ひとの罪を その身に負い 捨てませりいのちを
(くりかえし)
ひとすじに十字架を あおぎつつわれゆかん
世のさかえうちすて み救いにたよりて
2. ひとはいとい あざけるとも 十字架はしたわし
こひつじなる 神の御子の み苦しみ思えば
3. あらけずりの 主の十字架 かぎりなくとうとし
ゆるし与え きよくするは イエスキミの血しおぞ
4. 悩みも死も 何かはあらん 苦しみもいとわじ
さかえの朝 待ちわびつつ 担いゆかん十字架を



● 『讚美歌 2 1』 4 4 2 番

1. はかりもしれない 神の恵みよ
わたしの罪も ゆるされるのか
2. 今日までながく 招きをこぼみ
み顔をさけて 歩み続けた
3. 十字架の上で 敵をゆるした
主イエスの御名を 汚し続けた
4. 手の傷しめし み腕を広げ
迷うわたしに 主は呼びかける
5. 深い恵みに 心もとけて
悔いて涙し み腕にすがる

● 『讚美歌』 5 4 5 番 B

1. 父のみ神に 御子に きよきみたまに
むかしながらの み栄えあれや
ときわに アーメン、アーメン

